

植物多様性センターの「オトコヨウゾメの実生」

奥多摩ゾーン落葉広葉樹林エリアで、オトコヨウゾメの花が今年も満開です。花つきはよく、訪花昆虫も来ているのですが、実つきがよいはありません。じつは2株ある個体が、株分けした同じクローンの可能性が高く、自家不和合性が強く結実しないようです。現在、別の個体を導入するため、種子から苗を育てています。今のところ生育はゆっくりですが、実つきがよくなる日を夢見ています。



開花:最近は、温暖化の影響で3月の末から咲き出します。



結実:長い果柄の先に実をつけますが、数個しかつきません。



発芽:冬を越し、固い種皮を持ち上げ発芽しはじめたところ。



実生2年目:まだ10cm足らずの小さな実生です。